

## 第6回浅川流域協議会 要旨

日時：平成15年10月28日（月）14:00~17:15

場所：古里公民館 多目的ホール

会員数160名 出席会71名

### 新規会員等（2名）の自己紹介

### 第5回流域協議会要旨について事務局から説明

#### 第5回流域協議会において、2名の会員から質問が出された。

- ・15持田会員から「ため池貯留の対応スケジュール等について」
  - ・27内山会員から「スパイラル、市営スキー場を撤去して復元を図るべきでないか」
- この質問に対して、地方事務所：市川土地改良課長、長野市：内山課長より説明。説明及び提言等の内容は以下のとおり。

#### 討 議（テーマ：内水氾濫対策(千曲川を含む)に関する検討・審議）

内水氾濫対策（千曲川を含む）に関する検討及び審議をして頂き、18名の会員の皆様から質問や提言があった。

出された質問、提言及び回答は以下のとおり。

次回は、11月11日（火）午後6時から開催することとなった。会場等については、はがきにおいて通知することとなり、17:15に閉会した。

### 第6回浅川流域協議会に出された質問、提言及び回答

#### ・回答（地方事務所：市川土地改良課長）「15持田会員からの質問に対する回答」

原案で示しているため池の嵩上げは、余水吐の構造を徐々に水が出るように変えた上、（水田と同じ）必要な高さや安全を見て堤体を嵩上げするというもので、ため池管理者に説明を行い、了解の後に行うものである。土砂等の堆積除去は水を払った時の様子を見て管理者と相談してやっていきたい。その後、流域住民に説明をしていきたい。工事は直ぐに行うのではなく、嵩上げや堤体補強が必要になった時、国庫補助を取入れて実施する。

#### ・再質問（15持田会員）

ため池については了解した。水田貯留についてはどうなるのか。

#### ・回答（地方事務所：市川土地改良課長）

水田については、どの水田で実施するか、詳細に検討を行い地域の皆様からの了解が得られた所から実施していく。

### ・回答(長野市:内山河川課長)「27内山会員からの質問に対する回答」

飯綱スキー場は昭和40年12月に開設。開発面積110ha。年間6～8万人の利用客があり、冬期間のスポーツの振興に大いに役立っていると考えている。現段階では閉鎖して森林に戻すことは考えていない。

スパイラル(ボブスレー・リュージュ会場)は、敷地面積は18ha。開発に伴い17,600m<sup>3</sup>の雨水貯量施設も設置。開発に伴う樹木伐採は行ったが、47,140本の幼苗植栽を実施している。年間利用者4,656人(H14)。冬期スポーツの振興に役立っている。現段階では山林に戻す考えはない。

### ・意見(27内山会員)

両施設は役立っていると評価をしているが、現在の施設の価値判断が違うと思う。長野県(日本)のボブスレー・リュージュ人口は何人か。利用回数、維持費はどのくらいかについての話はなかったが、財政的にお荷物のはずである。費用対効果の考え方からすれば、今後お荷物になり、有害無益の施設になるであろう。抜本的に将来施設をどうするべきか考えるべきであろう。長野県も長野市も浅川の流量と土砂を増やす事しかやってこなかった。そのつけとして流域対策を考えることとなった。解決策として浅川ダムがあった。オリンピック会場が浅川に流量と土砂で負荷を掛けている。下流の河川改修だけでなく、上流の森林対策を考えていくべきである。県・市で具体的提案を出していくべきである。

### ・佐藤議長

前回千曲川に対する資料提示依頼があった。それについて事務局より説明願います。

### ・資料依頼に対する回答(事務局:大坂企画員)

8中沢会員から千曲川の立ヶ花～古牧橋の河川横断と水面勾配が分かる図面の依頼。又、12清水会員から浅川合流点前後で、千曲川の堆砂状況が分かる図面の依頼があった。

過日、事務局(浅川改良事務所)と長野建設事務所で千曲川河川事務所に協議を行った。所定の手続き(公開請求)をとって頂き、直接本人に説明をし、お渡ししたいとのことである。また、協議会として資料を望まれるのであれば、協議会から所定の申請手続きをして頂きたいとのことであった。協議会としてどうするか、皆さんの御判断をお願いしたい。

### ・意見(8中沢会員)

千曲川河川事務所まで行ったのに引き下がったのか、私自身公文書公開請求を行っている。あえてお願いしたのは、皆の共通の認識・知識とするためである。千曲川管内図からは、立ヶ花～笠倉～古牧橋の水面勾配、横断距離が読める。流域協議会として請求して皆さんにお示し頂きたい。

### ・意見(12清水会員)

浅川と千曲川は表裏一体である。浅川だけでなく千曲川の問題箇所を理解し、対応して頂きたい。国の関係であるから、県が知りませんでは、この協議会も一方的になってしまう。県が独自に理解して頂くために提案した。今後そのように対応願う。

・佐藤議長

清水会員から、県が理解しておくようにとの意見であれば、県に要望しておきます。  
中沢会員からの千曲川の図面は、協議会として請求すべきであるかについては、いかがでしょうか。

・意見(12清水会員)

豊富な資料を持つことは、今後の課題として大事なことと思う。

・意見(6竹内会員)

会員からの提案があれば、千曲川の対策として役立っている筈である。答えてもらえばよいと思う。資料を持っていないこと自体、事務局の職務怠慢である。

・回答(長野建設事務所：児玉所長)

中沢さんの件であるが、流域協議会として必要があり、求められたとのことであるが、中沢さんの用途が分からなかった。用途が分かれば千曲川河川事務所も資料を出して頂けた。このため、中沢さんに河川事務所へ出向いて頂ければ、直接説明をしたいとの話であった。合流点付近の図面で堆砂状況を確認してほしいとの話であれば、私どもで調べてくる。

・意見(8中沢会員)

意外である。時間の関係から用途は申さなかった。

長野盆地の人は立ヶ花の狭窄部を開削して欲しい。新幹線の橋脚に問題があると云うが、立ヶ花の狭窄部は実際には長く、その下流の笠倉が問題である。正確な測量が出来ないので地図で判断すると、半分のW=100mになる。水面勾配(河川改修実施後)は、立ヶ花～笠倉1/4472、1kmで22cmである。その下流は1/612、1kmで163cmと下がる。急に下がる所に問題がある。そのことを皆が認識して橋梁の所だけを注目するのだけでは、話が深まらない。狭窄部全体を見なければ確信が分からないから資料が欲しい。

・佐藤議長

千曲川に関しては、流域協議会としても意見をまとめ、県に要望していかなければならない。ただし、千曲川本川に対する議論の時間は取れない。千曲川の何処まで議論をすべきか。流域協議会で立ヶ花～笠倉まで協議を行うか。内水対策で問題となる千曲川について協議をすべきか意見を頂きたい。

・意見(12清水会員)

国では狭窄部の改修が出来かねるとして。豊野町を上げて国会誓願等あらゆる場面で対策している。新幹線の橋梁は豊野町の要望を聞き入れて、3橋脚の直径が5.5mから5.0mに決着した。旧117号付近を掘削して、川幅を広げることを長野市にも呼び掛け決着に近い。住民参加の本協議会でも、申し入れ等行えば、より効果が大きいと思う。全会一致で申し入れを願う。

・意見（138小林会員）

本日初めてきた。千曲川は関係あるが、この話ばかりならば別に千曲川流域協議会を創ってやるべき。過去の出席者からいっこうに話が進まないと聞いている。千曲川の問題は県から国にお願いするしかない。浅川の問題をがんばってやって頂きたい。

・意見（126中澤会員）

流域協議会設置要項の治水利水ダム検討委員会の審議河川には、千曲川が入っていない。浅川問題を千曲川問題とすり替えない方法が必要である。千曲川の改修問題に踏み込まず、素人が色々言っても実際には技術屋でなければ分からない。主力を千曲川にならない審議運営をお願いしたい。

・佐藤議長

浅川流域協議会として意見を取りまとめていく上で、必ず千曲川との関連について、項目を入れていく。県、市町村から国土交通省へ働きかけして欲しいことを含め、要望していきたいと考えている。8中沢会員からの資料提示はここでは求めていかない。資料を必要な方は千曲川河川事務所に求めて頂くこととする。

8中沢会員から浅川の排水機場ポンプの構造について質問が出されている。これから内水対策についての案が出来ているので、その時お答え願う。

内水氾濫対策について、再度県より説明を行う。

・説明（長野建設事務所：下平技師）

資料4-3及びスライドで説明。

・意見（49前島会員）

第1案の排水機場の増設。490戸が解消されるなら、是非お願いしたい。しかし、落とし穴がある。

千曲川の水位が337.85mになった時、ポンプが稼働しない。増設しても稼働しなければどうなるか。その対策案は。

水門から大道橋までの2.7km間は、高低差2m、勾配は1/1200～1/1300である。平成7年7月の増水では、ポンプの能力はあるが水が流れてこない。空気を吸って100%稼働出来なかったと聞く。どの程度の稼働率であったか聞きたい。

稼働率を低下させる理由として、流域のゴミが集中する。網とベルトコンベアで除去しきれない。ストックヤードも一杯になる。ゴミの中でも流木が大変で、バックホウですくいチェーンソーで切った。ポンプ能力の50%程ではなかったかと聞いている。現況の44m<sup>3</sup>/sでこのような状況であれば増強しても価値はない。

数字合わせの増設ではない。以上3点についてお聞きしたい。

・回答（長野地方事務所：市川土地改良課長）

最初の14m<sup>3</sup>/sのポンプ場は国営事業（農林水産省直轄事業）です。増設は県営湛水防除事業で長野県が補助事業で造った。設置は長野県が行うが、その後の管理、財産は、長野平土地改良区へ贈与している。県で細かい数字は把握していない。

・意見（12清水会員）

浅川に千曲川は関係ないと言われるが、実は関係している。

排水機場を委任されている方から聞いているが、昭和43年に14m<sup>3</sup>/sを国が設置したが、昭和58年に豊野町が大被害を受けた。その後、平成元年に30m<sup>3</sup>/s増設した。その後、豪雨がなく全てを動かしたのは1回あったらしい。前会の時も効力が無いのではとの発言があったが、故障でも起きなければ効力はある。1m<sup>3</sup>/sに1億数千万円かかる。千曲の水位が浅川の堤防ギリギリになった時、水門を閉め稼働する。建設省曰く、ポンプが停止するのは5mを越えた時、小布施、長沼地区の弱い堤防箇所が切れる心配がある時に国交省が止める。今までの大きな被害は全て豊野町、長沼、柳原、村山である。上流では災害らしい災害は無いはずである。千曲川の増水は大いに関係がある。ポンプアップの能力が増せば上流も浅川も心配はなくなる。

・再質問（49前島会員）

清水さん、25m<sup>3</sup>/sの増設は必要ないのですか。

・回答（12清水会員）

それは必要である。やって頂きたい。実現に向けて進めて頂きたい。

・佐藤議長

分からないまま話をするのはいけない。次回、稼働率、ゴミについて説明して頂く。

・意見（3山岸会員）

流木の話があった。だからこそ、流域全体の総合治水、森林整備が必要だ。上流は土石流が出るので鋼製のスリット式の物を造り、流木、土石流を止めるべきだ。元、光家土木部長もダムを造っても内水被害はなくなると言った。千曲川の水位が上がると作動しなくなる。ダム計画では昭和58年型で、内水被害は55万m<sup>3</sup>余計になり大きくなる。

「信濃の巨流千曲川」には昭和30・33年頃に浚渫をしたら、洪水の時、飯山あたりまで水位が下がった。総合治水対策は千曲川を考慮に入れ、県・市が国交省に陳情すべきだ。

・意見（137金井会員）

排水機場の増設案について、稼働率の意見があった。県は状況をよく把握しているのが心配である。増設は、長野平土地改良区と相談してやって頂きたい。少量の水では稼働しない。しかし、浅川の水は一気に来る。このため遊水地が良いと思う。年間3千万円近い維持管理費がかかる。都市排水路の増加もあるため、公で費用を出すべきだ。放水路案は長沼排水機場の役目が果たさなくなるため、土地改良区(地元)とよく相談をして欲しい。

・意見（161野々村会員）

排水機場の能力を上げて稼働率が低くなるのでは意味がない。1～3案の組み合わせを研究すべきである。地元との協議をし、国ともよく研究して頂きたい。

・意見（54山岸会員）

清水会員のとおりに、1～3案やっていただければよい。

雨は北信・中信・東信で一緒に雨が降らなかった。平成7年は浅川は少なかった。ポンプアップの時空気を吸うとか、流木が流れてくるとか言われるが浅川の水は少なかった。少ない水の時にポンプアップすれば、空気を吸うのが当たり前だと思う。

最終的には千曲川と浅川は切っても切れない関係。千曲が増水しなければ浅川は安泰。

#### ・意見（42清水会員）

浅川に流木を止める所はない。平成7年は浅川の水は少なかった。しかし、鳥居川は上流で土砂崩れがあり、流木が飯山線橋脚に引っ掛かり溢れた。浅川は流木を止める所がない。ダム位置は地滑り地帯と聞く。それでは流木が流れ出す。どこか止める所が必要だと思う。鳥居川の氾濫のようになる。

#### ・回答（建設事務所：児玉所長）

流木は山を治めるにつきる。機場の稼働率、14m<sup>3</sup>/sの時も問題があったと聞いている。増設案は一つの案、稼働率、ゴミ対策等は技術的に検討を行い、各案の組み合わせも今後検討する。なお、流域対策の方向性が見えていないため、この案は検討段階である。再度流出解析を行い、内水対策を検討していきたい。千曲川と関連する内水対策は、浅川だけでなく色々あり、国との協議も必要である。内水対策については国で行うのか、又、県・市が補助を受け行うのか内部で検討していきたい。

#### ・意見（103清水会員）

機場を造ることはよいが、農家の犠牲があることを承知願いたい。長野平土地改良区の運営は、農家の付加金（組合費）と決済金（農地転用にした時に支払う、数十万円/反）で賄われている。県からの補助金はない。長野市、豊野町、小布施町の補助金によって運営されている。ため池等を造る時は県で造るが、運営等は土地改良区に任される。負担増になるので承知願いたい。

#### ・意見（62土屋会員）

排水機場の増設案は、豊野町住民は期待している。水が流れないのは、今までの管理、河床整理がいけなかった。柳の木があれば流れない。空気を吸うこととなる。最近河床整理をして頂いているが、2～3年すると柳が生え水が蛇行する。千曲川の出水時期は浅川より遅いから、千曲川が最高水位になる前に早く千曲川に流す事が大事。ポンプ能力をフルに生かせるように、河床整理して頂くことを願う。

遊水地は余り効果がないと思う。田子川合流点近くは優良農地であり、地元の賛成が得られるか疑問である。前回要旨P4の流域対策幹の回答「通常は農地として・・・」とあるが、農民の立場からすればとんでもない事である。農業は銭・金だけでは出来ない。秋の収穫を楽しみにして苦しい農業をしている。地元には有益な施設の兼用を考え、買い上げとして頂きたい。

#### ・意見（16山口会員）(スライドで説明)

遊水地の提案がある。場所は長野市大町津野赤沼地先、新幹線車両基地と浅川の間位置する。面積は14ha、調節湛水量49万m<sup>3</sup>(h=3.5m)。千曲川の話をしたが狭窄部の開削も出来ない。数年前長沼小学校を堤防の内側に敷地を求めるべく、当時の北陸地建増岡こうじ

(後の参議院)に来て頂き検討した。しかし、相之島～長沼は湛水効果がある。開削すると、飯山～新潟の既存施設はだめになるため出来なかった。このため、浅川の一番の改修は眼鏡橋付近の天井川の改修である。これが出来たため、古里から上流の水害は絶対にならない。「水とともに」の冊子にも過去からの水害の歴史が書かれている。眼鏡橋で8m川が下がったが、以前は水防活動を行った。浅川の水は最終吐け口で溜まるだけです。私案の位置から下流の溜まる水の量が同じ49万m<sup>3</sup>です。

調整池に灌水した場合は全面補償する。補償金は年収相当額とし、調整池の復元整理は速やかに県が実施。浅川の堆積土砂は毎年実施(費用は県で計上)。農業耕作地の地権者は原則移動しない。耕作地の影響が出るのは新幹線側。ここは鋼矢板と築堤を行う。耕作地は既設毎に変わる花畑にする。果樹園等はオーナー制にして、多方面からの集客を行う。公園、レジャー施設、果樹の販売コーナーの併設。農場で実施する場合は耕作者組合等に全体計画を図り、切れ目のない観光農業とする。収入及び利益の計算根拠は過去10年間平均年収の1.5倍は最低考える。地方事務所等の産業構造改善のコーナーで助言を頂く。地方事務所、農協等も共に検討し、遊水地内の人是不利益を被らないものを造ればよい。14町歩の内、10町歩は水田、4町歩が果樹園、10町歩を公園とレジャー施設、花畑にする。花畑は月々変わる有名な観光農園にする。水を入れる口と吐き出す口全ての工事を行うと、総事業費約16億円です。地権者に不利益を与える方法は駄目です。築堤部分、水の取入れ口、排水ポンプ場は耕作が出来なくなるため、買い上げとなる。県の代替案は100億、200億と言われるが、16億円で解決する。意見を頂きたい。

#### ・意見(42清水会員)

あの場所は今まで遊水地であった。そこに新幹線の車両基地を造るので赤沼は反対した。そうしたら県は、平成18年度までにダムを造るとの約束をした。未だ県と決着していない。赤沼としては決着してからである。

#### ・意見(138小林会員)

不勉強な意見である。古里も被害はある。未だ堤防は完成せず、天井川である。費用対効果は大切だ。遊水地よりも、流域にある道路の側溝に遊水池を全て造ればよい。古里地籍は未改修である。

#### ・意見(16山口会員)

前段で説明不足があった。ダム中止により、未改修部分は決壊の可能性はある。改修してある所は大丈夫である。貴方が切れるという根拠を示して頂きたい。現在のポンプは十分機能する。ポンプ場の手前は堰で池になっていて、ゴミが取れる。豪雨により大量のゴミが引っ掛かる。ゴミ除けをポンプの際でなく、少し上流で行えばよい。国交省からの指令がくるまでは十分機能します。

私の案を行えば、25m<sup>3</sup>/sの増設は必要ない。ゴミさえ取ればよい。県は数字合わせの計算だ。遊水地を造れば不要である。

#### ・意見(138小林会員)

現在のリハビリセンターの右岸、左岸で、浅川の堤防は人家側から切れる。土砂が削れて切れるのではない。中央橋下流は堤防天端から3m位は土である。平成7年の時、富竹は

水を止め、外から滝のように流し、橋を流されない様に工事をしたが外から崩れた。下駒沢の落合橋の少し下流に滝があった。立派にコンクリートとしたが、コンクリートの上からブクブク水がこぼれてきた。急遽、県で行った経過がある。上までコンクリートがあればよいが、上は土であり、今の工法では長い間（1時間）水が来ると危ない。県もそう思っているはずである。

#### ・意見（117中野会員）

山口さんに質問。14haに地権者は何人いるか。

新幹線との約束が文書化されていれば行政訴訟をやったらどうか。

私の提案として、ここから150m南側の道路に北部幹線が来る予定。道路の下に1.5km暗渠水路を浅川から造ったらどうか。今の技術では、暗渠は金さえあれば出来る。その間民有地は西巖寺だけ。この案は考える必要はある。遊水地は縮小できる。研究して頂きたい。

#### ・意見（54山岸会員）

規約8章に基づき、議長の議事進行（発言者の指名）無く、会員（発言者）同士の意見の言い合いは止めて頂きたい。

#### ・意見（56桐原会員）

専門分野の方が会員としている。会員同士の意見のやりとりが、協議会の内容に深まりが出ると思う。会員の中から専門家がいたらどんどん聞くべきである。

#### ・回答（16山口会員）

地権者の人数については把握していない。今後議論が深まり、この提案が採用されれば調査すればよいと考えている。

#### ・質問（4小林会員）

車輛基地周辺の遊水地については大変良いことだと思う。土砂の浚渫などが、県政や市の行政の中で行われてこなかったことから、排水機場も思うように稼働しなかった。現況を見ても、駒沢川から下流部については分厚い土砂が貯まっている。また、長沼1号、2号幹線排水路も同様に貯まっている。これらは、県の立場から治水計画の一つに組み込み、対策を立てることが大事である。排水機場の44tが25t追加され、きちんと稼働することにより、災害を防ぐことができると思う。

浅川排水機場周辺には、土砂、流木やゴミが流れて来るので、構造等を技術的面で検討し造ってほしい。今の構造では、ゴミなどが引っ掛かるため、上流でゴミなどを止める対策を検討すべきである。

内水の問題は、市街地から出てくる排水が赤沼へ行き、長沼排水機場から浅川へ入る。幹線排水路の整備と同時に、ため池や遊水地を設ける対策も立てるべきである。

千曲川の関係については、資料も少なく情報も少ない。千曲川の水位が高くなり、浅川からの排水が困難になる。それが内水の最大の原因である。国交省の千曲川河川事務所に今後の計画を聞き対策を立ててほしい。また、国交省も河川法の改正に伴い、流域住民の意見を聞かなければならないので、このような場を設けてもらいたい。

### ・回答（長建：児玉所長）

千曲川の河床については、今後どのように下げていくか、県でも計画を聞いている。千曲川の河床を下げて頂くことは大切であり、4月以降も何度か国と協議している。国も計画はあるが、長期的視野に立ち順次実施していくとのことである。千曲川の問題は、流域協議会や地域の皆さんと一緒に、雰囲気盛り上げていかなければならないと考えている。

都市排水の問題は大切であると思っている。市と十分協議しながら進めていきたい。土砂対策については、県でも一つの方向性を持ち、計画を立て示していきたい。

排水機場の構造については、ポンプの増設をどのようにするか、これから検討の段階である。増設するとなれば、現在の施設の経験を生かしながら対応していきたい。また、費用対効果等も含め、機場の増設は今後検討していきたい。

「北部幹線の下にトンネルを」との提案については、一つの提案として検討していきたい。平面的に見ると簡単に出来そうであるが、水は縦断が大切である。色々な施設がある中でどのように計画するか検討していきたい。

### ・意見（6竹内会員）

排水ポンプを設置(S45)して、今まで32年間にS46/9、S48/6、S56/8、S57/9、S58/9、H7/7と6回ポンプが稼働している。100年確率の雨量の見方をどうするか伺いたい。

立ヶ花の水量は3000m<sup>3</sup>/sの時に水門が閉まっている。S45以降の最大値は、台風で114.5 m<sup>3</sup>/日、集中豪雨は55mm/日、長雨の場合は総雨量162mmで発生している。この数字を入れてもらわないと安心していけない。

区間 は緩勾配で外に流れていかない。どの様にするか。

千曲川、犀川、台風で云うとS34、S56、S57、S58があるが、台風の経路が3種類ある。直撃はS34である。小市の流量が1000m<sup>3</sup>/s、杭瀬下が1000m<sup>3</sup>/sが立ヶ花で3000m<sup>3</sup>/sになるのに3時間かかっている。浅川は3時間以内に出ていけばポンプも必要ない。14m<sup>3</sup>/sポンプの揚程は2.1m、30m<sup>3</sup>/sポンプの揚程は4.4m、それ以上は排水できない。その辺(揚程)も考えて計画して頂きたい。

H7/7に15時間ポンプが稼働しているが、30m<sup>3</sup>/sのポンプを増設したがポンプ前の遊水池が14m<sup>3</sup>/sのまま+30m<sup>3</sup>/sのポンプの遊水池は設計されてないと思う。このため、排水できなかった(空気が入る)。+25m<sup>3</sup>/sとするなら遊水池も造らなければならない。洪水の時は、土砂が混入しているため比重も1.0 1.05~1.5(最大)となる。比重も上がればポンプの能力が下がる。

特定都市河川浸水被害対策法は、河川法、水防法、下水道法、都市計画法を含めた法律である。H15/6に施行されており、この対策を取らないと国交省は通らないと思う。

県(事務局)からダムを止めた理由がない。説明して欲しい。

今までの計算方法は大きい川しか対象にしていない。しかし、浅川は延長が短く面積も狭いため計算方法が違う。教えて頂きたい。

### ・回答（長野建設事務所：児玉所長）

ダムの中止は、今までの経過で御理解願います。

特定都市河川浸水被害対策法は出来たての法律であり、国から都道府県にどの様に進めるかとの話はこれからである。都市化が進み、都市部で浸水被害が起こって困る。従来の河川改修では対応できないため、他の方法を考えるべく出来た法律と理解している。国が

ら河川を指定されないといけない。隅田川、神田川等は国で考えているようだ。長野県の河川が指定されるかは決まっていない。浅川の議論は、この法律を外して考えてよい。

内水については確率計算が難しい。そのため、目標(S58/9の内水被害)を定め、対策を検討している。難しい理由については、変数が一つではなく、千曲川の水位、浅川の流量と時間の相関関係になる。このため、確率処理が難しいため、何年確率とはならない。

#### ・意見（158芋川会員）

浅川に限ってという意見と、浅川の排水問題は千曲川との関係が非常に高いとの意見がある。小布施町としては、河川敷に耕地がある。排水の度、増水の度に水害の被害を被っている。水害の度に耕地に土砂が入る。宇原川災害の時は40cm、昭和20年代からでは、1.5m土砂が堆積している。

国交省の河川愛護モニターに応募した。浅川の悪臭で要望したら浚渫をして頂いた。5年ほど前、浅川の合流点付近が塞がった時も浚渫して頂いた。千曲川の河床を下げるため砂利採取を申し入れたら河川事務所で行った。堤防道路の凸凹で果樹が傷になることを言ったら簡易舗装して頂いた。皆さん、河川愛護モニターになり、要望しましょう。

河川の堤防脇は土砂が多く貯まっている。自然のダムが小さくなっている。河床浚渫は橋脚保護の関係から浚渫ではなく砂利採取で要望しましょう。県からも要望願います。

#### ・意見（49前島会員）

新幹線車両基地について、H5/4/26付確認書の書類がある。

**要望：**浅川地区に建設予定の多目的ダムを新幹線の営業開始までに完成させること。

**回答：**用地買収が完了次第付け替え道路工事から着手し、ダムの完成は平成12年頃(平成18年に変更)を目安としていますが、当地域の諸事情を勘案し、早期完成に努めて参ります。

**特約：**前項に定める合意事項について、変更が生じた場合はその都度甲乙は誠意を持って速やかにその処理にあたるものとする。鉄建公団、長野市長、新幹線事務所長の印がある。ダムが廃止になって1年半経つが、何の連絡も来ておりません。今日、部長級の県幹部が2名来られているのでコメントを頂きたい。

#### ・回答（長野建設事務所：児玉所長）

確認書は頂いている。言われるとおりである。ダムを止めて、それに代るべき治水対策を速やかに行わねばならない。極力努力をして、早く安全な浅川になるよう、治水対策を進めていきたい。

#### ・意見（3山岸会員）（スライドで説明）

遊水地は重要である。三念沢左岸の団地が非常に危険である。三念沢左岸と浅川右岸はリンゴ畑になっているが、遊水地として考えると280万m<sup>3</sup>貯められる。提起しているので検討して回答願いたい。

流木、巨石を止めるために、南浅川合流点に10m位の遊水地、格子のスリット堰の検討をお願いしたい。

#### ・佐藤議長

以前、8中沢会員から文書で質問を頂いており、事務局から回答するが、質問の項目を

読まさせてもらう。

今後千曲川の問題を論議する段階に備えて、長野県に次の資料の開示をお願いする。

- 1 千曲川は一級河川であるが、新潟県境から湯滝橋下までは、指定区間として長野県が管理している。この指定区間について、県が所有している平面図及び河川測量資料のリストを示してほしい。また、これら資料の閲覧方法を示してほしい。
- 2 千曲川において、明治時代に繰り返し大出水があったが、その出水が河川整備が進んだ現状では、どう影響するのか河積の変化を読み込んで試算をして頂きたい。

明治時代の4回の大出水の内、最大であった明治29年の出水、2番目に多かった明治元年の出水を堤防が整備された現在において、堤防外の水位がどの位になるか試算して、その数値を示してほしい。

#### ・回答（事務局：大坂企画員）

第1点目の新潟県境から湯滝橋下の間は、指定区間であり長野県の飯山建設事務所で管理している。平面図や河川測量の資料は、飯山建設事務所の方へ問い合わせして頂ければよいが、事務局の方からも一緒に口添えする。

2点目について、明治時代の大出水のデータを持っていない。また、河積の変化の資料もないため、特に試算しかねる状況である。千曲川河川事務所の方で、シミュレーション等資料があれば確認させて頂く。

#### ・意見（8中沢会員）

第1点目について、私は組織を通じてお願いした。どうして飯山の方へ照会しないのか。リストを示してもらわなければ公開請求もできない。リストを示してほしい。

第2点目について、善光寺平洪水水位標の資料や数値を付けてお願いした。国土交通省では浸水想定区域図を作成している。（村山橋を中心とした図を示す。）私が聞いたところによると、昔は川幅いっぱい広がった。今の警戒洪水水位336mとほぼ同じである。現在の堤防のように河積が小さかった場合、どの位水位が上がるか知りたい。

専門家の意見も聞き、県境から上田まで含めた研究グループや考える会が必要だと思う。

ここ90年間は大出水がない。昭和57,58年は水害があったが、国土交通省では「特別な大出水ではなかった。」と明言しており、今が非常に危険である。

ハザードマップが出来ているのは、飯山、中野、豊野、上田である。長野市がどうしてないのか。長野市が自然災害で一番大きな被害を受けるのは、千曲川の氾濫である。千曲川が非常に危険であることを認識してもらいたい。

#### ・佐藤議長

次回の開催予定について、座長代理と相談した結果、11月11日（火）の案が出た。なお、昼間だけでは出られない会員もいるので、夜間にしてはどうかとの意見があった。会員の皆さんの意見を聞きたい。

昼間、夜間、両方の意見に分かれた。

#### ・佐藤議長

今回は、平成15年11月11日（火）18:00～21:00とし、会場ははがきにて通知する。

